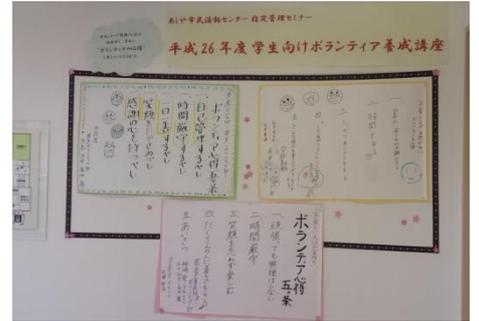


学生ボランティア養成講座報告書

- 1 事業名：指定管理事業
- 2 実施日：平成26年4月19日（土）・5月31日（土）
- 3 担当：人羅
- 4 進行：人羅
- 5 参加者：
県立芦屋高校ボランティア部 13名
芦屋大学Aqua 2名



6 内容について

- 1) 目的：(1)若者人材の獲得とボランティア育成。
(2)次の講師育成のためのスタッフ研修も兼ねる。
- 2) 内容：(1)ワークショップ形式でボランティアについて考える時間を持つ。
 - ①さくらまつりを振り返り、良かった点、改善点などをランダムにあげてもらい、それらの意見を【良い⇔悪い】【簡単⇔難しい】の軸に『振り分ける』。
 - ②振り分けた意見をもとに、それぞれのグループで「ボランティアの心得」を考えてもらい発表する。(2)第26回さくらまつりの決算をもとにして、次年度について考える
 - ①今年度の決算を伝える。
 - ②決算をもとに、次年度自分がさくらまつりにどのように関わっていくのかをイメージする。
 - ③各団体への宿題として、「さくらまつり」で何をしたいのか、どこまでできるのかを検討して秋までに希望があれば（特活）あしやNPOセンターまで連絡をする。(3)あしや市民活動フェスタの説明
 - ・事業内容の説明をした後、何をしたいか、何をするかを考える。
 - ・フェスタ当日（5月31日）に実践を行う。

(3) 検証：

- ・実際に活動をしているメンバーがほとんどだったので、振り返りの意見もスムーズに出していた。また、改善点に関しても、どうすればよかったのかをしっかりと分析できていた。
- ・「ボランティアの心得」は活動の中で自分たちが感じたことを言葉にしていたが、ボランティアをするうえで必要と思われる要素が多く含まれていた。
- ・フェスタでの実践では、自分たちがすべきことを見つけて、主体的に動くことができていた。

(4) 今後の展望

今回は講座に参加した学生に対して、「さくらまつり」に参加するのかわからないのか、また参加するのならどのような形で関わるのか（運営全般・補助のみ等）を各グループで検討するように伝えた。

今後も「さくらまつり」やその他のイベントでの実践を通じて、「ボランティア」をすることの意味を考える講座を展開していきたい。



以上